



わじわやんのかげおくり (1)

教科書用紙 24 ページ

1 線の漢字の読みがなを書きなしょり。

① 感想 ② 送る ③ 列車 ④ 乗る

⑤ 追いかける ⑥ 血 ⑦ 暑い ⑧ 寒い

2 線の言葉の意味をえりとり、○をつけましょり。

① 空を見上げて、つぶやく。

ア()小さな声でひとりごとを言う。

イ()やさしい声で話しかける。

ウ()くり返し、もんくを言う。

② かげぼうしに目を落とす。

ア()きょろきょろとあたりを見回す。

イ()はつと気づいて、見つめる。

ウ()目を下の方におけて、ものを見る。

③ まばたきしないようにする。

ア()あきらめる。

イ()目をとじたり開いたりする。

ウ()片方の目だけをつぶる。

④ なくのをやつとこらえる。

ア()あきらめる。

イ()がまんする。

ウ()少しずつする。

⑤ 話しかけられて、深くうなづく。

ア()頭をたてに動かして、「分かった」という気持ちなどをつたえる。

イ()頭を横にふって、「いやだ」という気持ちなどをつたえる。

ウ()頭をななめにむけて、「分からぬ」という気持ちなどをつたえる。

る。

「目を落とす」は、
本当に目を下へ
落とすわけでは
ないよね。
「目をじらす」や
「目がさめる」の
よつて、決まった
言い方で使われる
言葉なんだよ。



時間 20 分

合計 80 点

100点

五、每個人所費之錢，人數愈多，則每個人所費之錢，亦愈少。此爲人數愈多，則每個人所費之錢，亦愈少。此爲人數愈多，則每個人所費之錢，亦愈少。

(2) 二〇一〇年，五二二五人未滿六歲
六八二二五零歲子女為零。其大部份
為一九四九年以前出生。

。事務官の日記。4年2月21日

④ $\frac{1}{2}x^2 - \frac{1}{2}x^2 + x + 1$

卷之四

卷之三

「是數之為體，一以無所有者為體。」

○一九四九年五月二十一日

卷之二

卷之三

七。大。天。之。萬。物。無。不。以。爲。體。萬。物。無。不。以。爲。體。萬。物。無。不。以。爲。體。

其行之于人也，無往而不順。其施之于人也，無往而不得。其應之于人也，無往而不合。其處之于人也，無往而不安。其處之于事也，無往而不順。其處之于物也，無往而不得。其處之于時也，無往而不合。其處之于地也，無往而不安。

卷之三

卷之三

卷之三

ପାଦମୁଖରେ କିମ୍ବା ପାଦମୁଖରେ କିମ୍ବା ପାଦମୁଖରେ କିମ୍ବା

見に出かけてみると、

けて書きましょう。

まとめのドリル

43
44 ページ

(1) 北村

(2) イ・ウ

(3) れい 六年生がリーダーをします。

(4) 毎年はじめに、はんごとに、自分たちのはたを作る。

ちのうきょう

こうべし

いのうえかづこ

Aomori

(AOMORI)

Gunma

(GUNMA)

Chiaki

しま

Tiaki

まち

shōgakkō

tsuru

syōgakkō

fune

(じゆん 順番はちがつ
てもよい。)

25 きほんのドリル

47
48 ページ

(1) 「はじめ」と「終わり」の部分では、北村さんが発言することになっています。

(2) 発表メモには、だれがどの部分を何分くらいせつめいするかということが書かれています。

(3) 発表のときは、「リーダー」といききるのではなく、ていねいな言葉つかいをしなければなりません。「六年生がリーダーになります。」なども、正しい答えとします。

(1) かんそう (2)おく (3)れつしゃ

24 きほんのドリル

45
46 ページ

①かんそう

②おく

③れつしゃ

(1) ア (2) ウ (3) イ (4) イ (5) ア
(4) の (5) お (6) ち (7) あつ (8) さむ

(1) れい

(2) ウ

(3) イ

(4) イ

(5) ア

十、数える間、かげぼうしをじつと見つめる。

(空に)うつって見える。

(お父さんが)出征する前の日、(家族で)先祖のはかまいりに行つた帰り道。

(4) 子どものとき、よく遊んだ

(2) ちいちゃんなど……目を落としました。

た。

考え方

(1) (3) 「出征」は、へいたいとしてせんそうに行くことです。その前の日は、

このように家族や先祖のことを思いな

がらすごしたのでしょうか。

(2) これは、家族四人ですごした日の、

かげおくりの様子です。この後の場面

では、お父さんが出征してから、お兄

ちゃんと二人でかげおくりをやるよう

になり、さいごはちいちゃんが一人、

やることになります。出来事のうつり

かわりとともに、かげおくりの様子も

かわつてていきます。

(4) だいいち

(それぞれ順に) (1) 家・天文台・走る

(2) 自動車・南・市場

(1) 日が、高く のぼりました。

(2) コスモスが、広い 野原に さきました。

(3) 小さい 魚が、ぴちぴちと はねる。

(4) わたしは、友だちに 手紙を 書き